



日本実験動物技術者協会 東海支部会報

2010 年 4 号 (通算 41 号)

目次

1. 開催のご案内

第 37 回日本実験動物技術者協会東海支部総会・研究会・・・・・・・・・・ 2

2. 『東北地方太平洋沖地震義援金』募集のお知らせ・・・・・・・・・・ 3

3. 報告事項

3 支部交流会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

参加者からの感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

4. その他

(1) メーリングリスト登録について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

(2) 年会費について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

(3) 東海支部へ賛助（平成 23 年度）のお願い・・・・・・・・・・ 7



東北地方太平洋沖地震について

2011 年 3 月 11 日に発生しました東北地方太平洋沖地震により被災されました皆様には、心よりお見舞い申し上げるとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

1. 開催のご案内

第 37 回日本実験動物技術者協会東海支部総会

日 時：平成 23 年 4 月 16 日（土） 13:10～17:00

会 場：名古屋大学医学部基礎医学研究棟会議室

（詳細 <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/109/m10913.html>）

参加費：会員：500 円 非会員：1,500 円

懇親会：4,000 円

＊なお、参加費の一部を、「東北地方太平洋沖地震」の被災された東北地方のみなさんへの義援金として、日本赤十字社を通じ被災者の援助・復興の資金などに役立ていただきますのでご了承ください。

【総会議題】 13:10～13:40

- ① 平成 22 年度事業報告及び決算報告
- ② 平成 22 年度収支決算報告・備品目録および会計監査報告
- ③ 平成 23 年度事業計画（案）
- ④ 平成 23 年度予算（案）
- ⑤ 支部規約の一部改定について
- ⑥ その他

【研究会】 13:50～17:00

講演

「動物実験における人道的エンドポイント」

日本新薬(株) 研開企画統括部 研開業務部 研開管理課

中井 伸子 先生

トピックス

「サルモデルでのゲノミクス評価試験の意義」

プライメイト・アゴラ バイオメディカル研究所

中村 伸 先生・光永 総子 先生

「作業者の安全、動物の苦痛軽減を考えた麻酔及び安楽殺の提案」

夏目製作所 飯塚 真 先生

フリーディスカッション

「あらためて動物実験施設の地震対策を考える」他

【懇親会】 17:20～

場所:スカイレストラン「ソレイユ」 (名大病院14階)

出欠の有無を返信用はがきに必要事項を記入後、4月13日(水)までに支部事務局まで必ず返送してください。なお、ML会員の皆様には別途往復はがきを送付いたしますので、返信はがきに必要事項を記入後、返送してください。

非会員の方で参加希望の方は、支部事務局まで e-mail、FAXにてお申込みください。

その他詳細は、東海支部HPに掲載いたしますのでご覧ください。

2. 『東北地方太平洋沖地震義援金』募集のお知らせ

日本実験動物技術者協会では「東北地方太平洋沖地震」の被災地の救援や復興支援のため、義援金を募るべく受け付けを開始しました。皆様からお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通じ、被災者の援助・復興の資金などに役立てられます。

尚、お寄せ頂いた義援募金の状況につきましては随時協会HP、広報等を通じて、その運用に関しまして適切に情報開示を行います。当協会会員・賛助会員の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

詳しくは本部HP、東海支部HPをご覧ください。

本部HP <http://www.jaeat.org/index.html>

3. 報告事項

三支部交流会

日 時：平成 23 年1月22 日(土) 10:00～17:00

(受付 10:00～10:20)

会 場：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

10 階 1003 中会議室

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

<http://www.winc-aichi.jp/>

1. 特別講演

「動愛法改正の動き」

浦野 徹 先生（熊本大学）

「ICLAS モニタリングセンター新マウス・ラット微生物検査項目セットの設定」

高倉 彰 先生（（財）実験動物中央研究所）

「実験動物の鎮静・麻酔・鎮痛・安楽死」

西村 亮平 先生（東京大学）

三支部交流会特別講演

「実技協の今後の運営体制について（協会法人化検討の現状）」

坂本 雄二 副理事長（日本実験動物技術者協会）

2. シンポジウム

テーマ：「現場における実験動物福祉の実践」

1) アステラスグループにおける動物福祉への取り組み

ー焼津技術センターでの実際ー

中野 洋子 先生（アステラス製薬(株)）

2) マウス、ラット、ウサギ、マーモセット、ビーグルおよび

カニクイザルの環境 ～エンリッチメントの紹介～

伊藤 恒夫 先生（（株）中外医科学研究所）

3) げっ歯類における動物倫理的配慮の実践：馴化法の効果

根津 義和 先生（第一三共(株)）

3. 一般演題



今年度は東海・北陸・関西の三支部交流会として、名古屋で開催しました。予想を上回る大反響で、遠方からも含め 100 名を超える参加があり、盛会裏に終了することができました。トピックスはもちろん、情報交換や他支部会員との方々とも交流できるよい機会だったと思います。

【参加者からの感想文】

参加された方から、感想をいただきました。

三支部交流会に参加して

富山大学 新崎 裕子

1月22日に行われた三支部交流会に参加し、実験動物に関する技術的なこと以外にも、動愛法改正や実技協法人化の現状などの話を聞くことができました。実技協を運営・維持していくにあたり、法人化が検討されていることは以前から伺っていましたが、法人化とはどのようなものなのか、またなぜ法人化が必要なのかということについてよくわからない部分がありました。坂本先生のわかりやすい講演をきいて、とてもよく理解できました。今後の実技協はさらに各支部一丸となり、同じ方向に進んでいく必要があると感じました。

シンポジウムではげっ歯類の馴化法についての話がありましたが、実際の動画をみると動物の取扱いに感嘆するばかりでした。動物実験を行っていく上で、動物に対して実験者が馴れること、実験に対して動物が馴れるということの重要性を改めて感じました。

今回の交流会では東海・関西支部の方々には大変お世話になりありがとうございました。普段接する機会が少ない他支部の方と話をしたり、またいろいろな情報を得たりすることができとてもよかったです。今後ともよろしくお願い致します。

ご講演の様子



浦野先生のご講演



高倉先生のご講演

3支部交流会に参加して

岡山大学 矢田 範夫

1月22日、名古屋市において開催された東海・北陸・関西3支部交流会に参加しました。関西支部に籍を置きながらも、日頃は岡山という、「関西」で括るのは関西の皆さんに申し訳ないような地域で仕事をしていることもあって、これまでは他支部の会員、技術者の方々にお会いするのは全国総会などの場に限られていました。3支部交流会は、私にとってお隣の支部である東海支部、北陸支部のみなさんのご活躍の一端に触れる恰好の機会となりました。

何よりも感じたのは、会場から溢れるばかりの（これは誇張ではなく、事実そうでした）参加者の数と熱気。開催地の東海支部の方々の参加が一番多いのはいまでもないとしても、比較的遠方の北陸支部のみなさんも多数参加されていたことには、頭が下がりました。当日はかなり寒い日であったにもかかわらず、会場内は冷房がほしくなるほどの状態だったのは、間違いなくこの熱気のせいでしょう。電車の時刻ぎりぎりまで会場で熱心に講演を聴きメモをとっておられた北陸支部の皆さんの姿も印象的でした。

講演内容も、熊本大学・浦野徹先生の「動愛法改正の動き」、東京大学・西村亮平先生の「実験動物の鎮静・麻酔・鎮痛・安楽死」の各講演が、私にとって最も印象深いものとなりました。また「現場における実験動物福祉の実践」のシンポジウムはもとより一般講演も含めて、プログラムの全体が実験動物福祉の推進という共通テーマに裏打ちされたものとなっていたことに、強い感銘を受けました。この内容なら、会場の定員を超える参加者があっても不思議ではないと感じられたほどでした。これからもこのような交流の場があれば積極的に参加したいと思えるような、充実した内容だったように思います。

私は受付のお手伝いを仰せつかっていましたが、受付開始前にはもう長い行列ができているような状態で、あまりお役に立てなかったことが悔やまれます。最後になりましたが、本会を準備された東海支部、北陸支部のみなさんに改めて御礼を申し上げます。

ご発表の様子



4. その他

(1) メーリングリスト登録について

東海支部では従来よりPDF会員と称し、ご希望があった会員の皆様のメールアドレスをメーリングリスト（ML）に登録し、会報の発信等を行っています。最近では多方面からの情報の配信の必要性もあり、会報のみならずさまざまな情報をリアルタイムに発信しています。郵送による情報

の提供よりも早く、またML会員だけに送られる情報もありますので、ぜひMLに登録していただきますようご協力をお願いします。なお、お知らせいただきました個人情報（メールアドレス等）はMLのみに使用し、他には一切使用いたしません。

＊ML登録希望の方は、東海支部事務局まで e-mail にてお申し込みください。

事務局 e-mail mailtokai@jaeat-tokai.org

（２）年会費について

本協会は会員の皆様の会費により運営されています。本年度の会費が未納の方は至急お振込みをお願いいたします。

年会費：6,000 円

振込先 名 称 ： 日本実験動物技術者協会

口 座 ： 00130 -9 -102291

取扱機関 ： 落合郵便局

（３）東海支部へ賛助（平成 23 年度）のお願い

東海支部では、支部の活動である技術交流や研究会、あるいは講師を招き実験動物技術者としての資質の向上を図っております。こうした企画や運営には、会員のみなさまの年会費をもって当てさせていただいております。また、役員一同も経費の節約に努めておりますが、運営は厳しい状況です。

そこで、賛助についてみなさまに賛助の趣旨にご賛同いただき、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

①賛助金額 一口1万円（一口以上お願い申し上げます）

②申込み方法

賛助いただけます方は、下記連絡先に FAX・メールまたは郵送にてお申し込みをお願いします。お申し込み日より一ヶ月以内にお振り込みいただくと幸いです。

③振込先

郵便振込口座

口座番号：00800－6－101148

加入者名：日本実験動物技術者協会東海支部

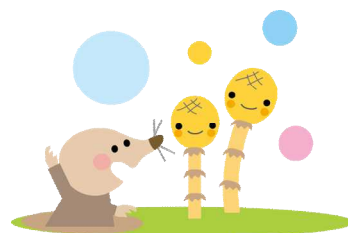
取扱機関：城東郵便局

ゆうちょ銀行

店名：二一八 店番：218 普通口座 1125275

<連絡先>

〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41
京都大学霊長類研究所 人類進化モデル研究センター内
日本実験動物技術者協会東海支部
事務局 前田 典彦
TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559
maeda@pri.kyoto-u.ac.jp



Japanese Association for Experimental Animal Technologists TOKUAI branch

2011年 3月 No. 41

<発行者> 支部長 小木曾 昇
<発行所> 日本実験動物技術者協会東海支部
<編集> 事務局広報 羽根田 千江美
<事務局> 事務局長 前田 典彦
〒484-8506 愛知県犬山市大字犬山字官林 41 番地
国立大学法人 京都大学霊長類研究所
人類進化モデル研究センター内
TEL 0568-63-0607 FAX 0568-62-9559
e-mail: mailtokai@jaeat-tokai.org
HP: http://www.jaeat-tokai.org